



Rotary Program

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告・その他連絡事項
7. 新会員へバッチの贈呈
司法書士ないとう事務所 内藤 俊文さん
8. ガバナー補佐訪問(第4回)
県中分区ガバナー補佐 橋本 紀子様
9. 友の見どころ 福原 義守さん
10. 会員卓話 初見 和俊さん 増子 博保さん
11. 閉会点鐘

2021-22 三春ロータリークラブ テーマ
わくわく・ドキドキの三春ロータリー

真照寺の水芭蕉

令和4年3月10日(木) 12:30~ 場所: 割烹 八文字屋

ガバナー補佐訪問・友の見どころ・会員卓話例会

会長挨拶 山口 晋司

皆さまこんにちは。今月から新しく三春RCのメンバーに加わった司法書士ないとう事務所の内藤俊文さんにも、例会に参加いただいております。内藤さん、どうかよろしくお願ひします。

三春RCは、現在24名の会員様で運営しています。他の大きなクラブでは100名超えもありますが、会員の皆さんの顔が見え、仕事や家庭の事、趣味等々分かり合える数としては三春RC最適な人数だと思います。

「ロータリー＝奉仕の団体で自分の業務の話はご法度」など言っていた人もいますが、そんな考えしているのは、自分のお金がどこから来ているかも分からない人の考えだと思います。お客様がいて、仕事が出来て、その対価でお金を頂き生活が成り立つ。。。これが資本主義国家の基本です。仲良しこよしの交流も重要ですが、お金と物が行き来する「経済交流」をしてこそ本物だと思います。

これからも、三春ロータリーは会員の皆さんの顔が見え、楽しくやっていたら最高だと思います。

最後になりますが、本日は3月10日です。。。歌手では松田聖子さんの誕生日で、東京大空襲もあり東海道・山陽新幹線が開通した日でもあります、実は・・・僕の誕生日です。



本日の
昼食



幹事報告 (代理)副会長 白岩 良子



1. 2022-23年度 テーマが発表されました。

ジェニファー・ジョーンズ会長エレクトは、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。



 新会員へバッチの贈呈 司法書士ないとう事務所 内藤 俊文さん



内藤俊文さんが3月1日より三春ロータリークラブの仲間として入会いたしました。



佐久間英一PGよりバッチの贈呈



 誕生日ケーキの贈呈



3月10日は山口会長の誕生日でした。

 ガバナー補佐訪問(第4回) 県中分区ガバナー補佐 橋本 紀子様

皆さんこんにちは、今日は県中分区ガバナー補佐として参加致しました。

皆様にはいつも分区事業にご理解とご協力、有難うございます。今年度も残すところ4、5、6と3ヶ月になり、私のクラブ訪問も4回目、最後となります。この残り3ヶ月間で今年度の出来なかった事を上げるため、又今迄おこなってきた事業の確認などを含めまして、クラブのお役に立ちたいと、思っております。



甲冑の間で白馬にまたがり記念撮影！！

ガバナー補佐の任務と申しますと、言葉とおりがバナーの任務を補佐することにあります、それはとりも直さず、クラブの会長さんのサポートをすることにあります。

会長さんがクラブをより効果的クラブにするための活動をお手伝いすることにあります。効果的クラブという言葉は良く聞きますが、要するにロータリークラブとして、持続可能な元気の良いクラブということです。効果的クラブとして4つの要素が上げられます。

1. 会員増強
 2. 奉仕プロジェクトの実施
 3. ロータリー財団、米山奨学金を支援すること
 4. クラブレベルを超えた指導者の育成、つまり地区の委員、役員を輩出する。
- 以上の4つを実行出来るようにクラブを運営することが会長さんのお役目です。

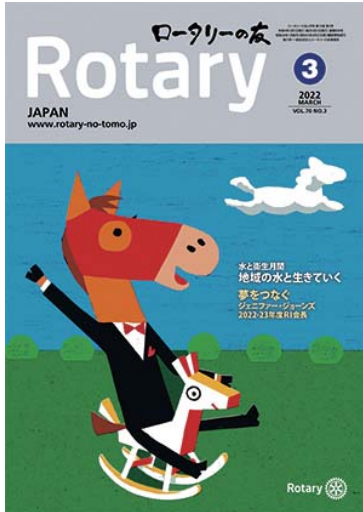
これらの活動の成果をまとめたものがロータリー賞です。三春クラブは19項目目標設定している中で、7項目達成に入力されています。

今年度もコロナ禍のせいで、なかなか思うような活動ができない所もありますが、ロータリー賞の目標はそれなりにクラブ運営が出来ていれば達成できる項目ですので、残り3ヶ月間頑張ってください。

最後に、”ロータリーは会員同志親睦を深め合う事が奉仕の心を育む”とされています。会員同士、姓でなく名前で呼び合うこと、と新会員研修会でいわれたことを思い出しました。私もこの年になったからこそ“橋本さん”と呼ばれるより、“紀子さん”て呼ばれた方が嬉しく親しみを感じてしまいます。

チョット、恥ずかしいところも、有りますが会員同士名前で呼び合えたら、ロータリアンとして親睦も深まるのかなと思います。そう言えばクラブ創立当時チャーターメンバー同士進ちゃん、次郎さん、恒一さんと呼び合っていたのを思い出します。また、クラブでやってみてはどうですか？まだご挨拶するのは、ちょっと早いのですが、今年度、私のような至らない者をガバナー補佐としてお迎え下さり有難うございました。大してお役に立てなかったと思いますが、私個人といたしましては大変勉強になり、刺激を頂きました。

橋本分区幹事共々お世話になりました。これからもよろしくお願ひ致します。

 友の見どころ 福原 義守さん**横書き P.5** シェカール・メータRI会長

今月のメッセージには、女兒の問題。児童婚を取り上げています。世界のロータリアンの「女兒のエンパワメントプロジェクト」の取り組みを高く評価し奨励しています。

- 女兒のエンパワメント＝教養・知識水準が高い母親に今教養のある母親の影響を受けた子供が育つ。
- 多くのプロジェクトが、世界中の紛争の根本的原因・貧困に対処でき、持続可能な平和の土台を築ける。女兒に対するエンパワメントが最も重要であり効果的である、さらに継続されるよう説いています。
- 児童婚は女兒の教育を受ける時間と機会を奪い、教養と知識不足のまままで子を育てる。貧困や諸問題解決の知識がない。

P.7~P.9 水と衛生月間《地域の水と生きていく》

2530地区が取り組む、素晴らしいプロジェクト

ロータリーは20年前から、地元の水質保全活動を行っている。

パストガバナー阿久津肇氏「ロータリーで育て地域に返す」

私たち三春ロータリクラブもよく参加している。猪苗代湖の水草回収。

猪苗代RC 中村岳嗣氏「受けたバトンをいつまでも」

富岡RC 遠藤寛和氏「名にし負う猪苗代湖で水草回収活動を」

P.10 「都市養蜂」

きれいな水から生まれる新しい奉仕のかたち。

**P.16~P.21** ジェニファー・ジョーンズ会長エレクト夢をつなぐ

ロータリー初の女性会長の記事です。RIに大きな変化が起こるかもしれません。P.21に、次年度のロゴマークを紹介しています。

P.26 「よれやまだより」スリランカ・アンバガドローワ

私の好きなページです。外国から来た優秀な若者たちがロータリアンと交流しさらに成長していく姿を見るのがとても良いです。彼は、再来日し新潟で私と同業の人材サービスの仕事をしています。

P.42 ロータリーの友購読料の改定です。1975年以来1冊200円だったのが、250円になります。

縦組み P4~ 語り継ぐ震災今、あなたと共に

東北大学病院総合地域医療教育支援部助教 菅野 武

2011.3.11宮城県南三陸町の病院で勤務中に被災、多くの自分の患者が犠牲となっていく様を目の当たりにした経験を語り継ぐ。被災から立ち上がる、人々の姿も素晴らしい。そして、目を引く台湾の人々からの多額の支援。


P21~ ロータリーの森をきれいに徳島県御所RC森林づくりの様子を紹介

残りの縦のページ、どこのクラブもいろいろとこのコロナ禍の中を頑張っているんだなとしみじみ読みました。

皆さんも、ぜひ、隅々まで目を通してみてください。以上です。

 会員卓話 初見 和俊さん

初見さんが代表を勤められている(株)かんのやの新商品の開発から会社の運営等をお話いただきました。

 会員卓話 増子 博保さん

本日の卓話は、「人事」そして「組織」についてお話ししたいと思います。

「企業は人なり」という言葉がありますが、私も中小企業の経営に30年近く携わって、まさしくこの言葉を実感しています。

大企業は多くの人材がおり、また多くの部署が存在するので、数多くの部署を経験させることで、内部的にキャリアアップを図り、時間を掛け有為な人材に育てていくことが可能です。

それに比較し中小企業は、優秀な人材を数多く集めることは難しいですし、部署の数も限られています。

その中で如何に有為な人材を早く育て、生かすかは、経営上の大きな課題の一つです。中小企業は組織が小さい分だけ、経営者と一般社員の関係は、大企業に比べずっと近いといえます。従って、日頃から社員の仕事ぶりや言動を身近に見ることが出来ます。

中小企業でも、少ない中にもキラリと光る人材は必ずいますので、これぞと思った社員については、しっかりとその社員の仕事を観察することが大切です。そして、その能力・得意分野を把握し、かつ直接の上司や近くの役職者にもその社員に対する評価を聴取して、自分の判断を補強します。

そうして見つけた人材を外部教育等も行い、当該社員が最も力の発揮できる部署に配属するのです。人材の少ない中小企業は、貴重な人材を無駄にするわけにはいきません。それゆえ「人事」は、徹底して「適材適所」であるべきです。

私の会社でも、生産計画を立案するライン部門ではダメ社員と思われていた社員が、生産性向上等を企画・推進するスタッフ部門で、見事にデキル社員に変身した、「適材適所」の例があります。

生産計画を立案する部署にいたその社員は、親会社の営業と当社の製造部門との間で、人の好きからどちらにも良い顔を見せようとして、調整が上手くいかず、製造現場を混乱させたり、営業サイドの納期要望に応えられなかったりしていました。

ただ私は、彼はプレゼンテーション力があり、パソコンスキルも高く、数字にもけって弱くないというのを把握していましたので、日常の仕事に追われるライン部門より、生産性向上等を企画・推進をするスタッフ部門のほうが、結果が出せるのではないかと思います。親会社で研修を受けさせた後、配置転換を行いました。その結果はまさに水を得た魚のごとくで、彼はデキル社員に変身したのです。

また中小企業は、中途社員も多いので、その人の職歴をしっかり頭に入れ、その仕事ぶりを観察する必要があります。特に専門的な職種についたことがある人は、今までのキャリアとは別の仕事をしてみたいので転職したという場合でも、やはり持っている専門的な知識を生かさない手はないと思います。私の経験では、それを生かせる部署がある場合は、その社員としっかり話し合ったうえでその部署に配属し、力を発揮してもらったほうが、結局当該社員にとっても、会社にとってもメリットが大きいようです。

次に組織についてですが、中小企業は人材が限られていますので、優れた人に合わせて、柔軟に組織を変えることが、会社全体のパフォーマンスを向上させることになると思います。

優秀な社員には、兼務や部署を統一したりして、より広範囲な仕事をしてもらう必要があります。その分負担が増えることになるので、報酬給与等で十分に報いることは勿論ですが、日頃から、当該社員への感謝の気持ち込めたコミュニケーションを心掛けることが大切です。当該社員も、自分が会社に十分評価されていると受け止め、意気に感じて、さらに力を発揮してくれることでしょう。とにかく、デキル人に多くの仕事をしてもらうことです。





もしその社員が定年などで退職となったら、当該社員の仕事を二人で分担するような組織に変えれば良いのです。中小企業の組織編制は、そうした柔軟な発想で行うべきです。大企業では、まず最適な組織を造り、そこに人材を当てはめてゆくのでしょうが、中小企業の場合は人材が限られていますので、その限られた人材を生かす組織を造ることが肝要です。「人材あつての組織」だと思います。

「企業は人なり」であり、人は企業にとって、最も大切な経営資源ですが、中小企業にとっては大企業以上にその比重が高いということを、経営者は肝に銘じるべきです。



Smile Box スマイルボックス

- 佐久間 英一さん
内藤俊文さんの入会・例会を祝して。私事ですがお陰様で3月6日で81才になりました。これからも宜しくお願い親します。
- 石川 和広さん
橋本ガバナー補佐の来訪を祝してスマイルします。
- 川又 暉之さん
内藤俊文さんの入会を感謝してスマイルします。
- 福原 義守さん
内藤俊文さんの入会を祝ってスマイルします。宜しくお願いします。
- 白岩 良子さん
橋本ガバナー補佐の訪問を祝して。一日も早く戦争が終わりますように心から願ってスマイルします。

本日も多くのスマイルありがとうございました。
計 16,000 円

友好クラブ・交流クラブの活動紹介

春日部西ロータリークラブ (埼玉) 3月10日(木)



久しぶりの例会で、皆様にお会いできたことを嬉しく思います。春日部西ロータリークラブは、この度、「かすかべSDGsパートナーズ」の会員に認定されました。

